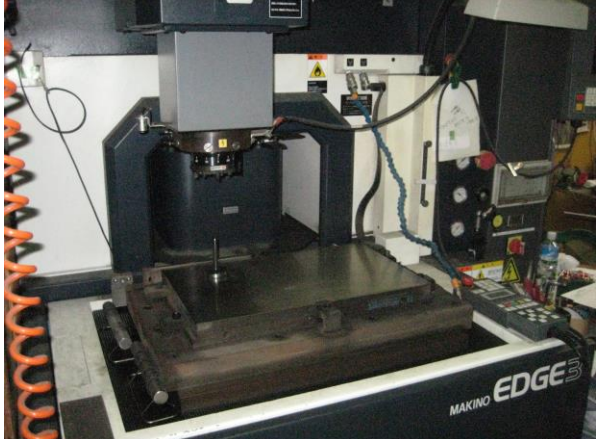
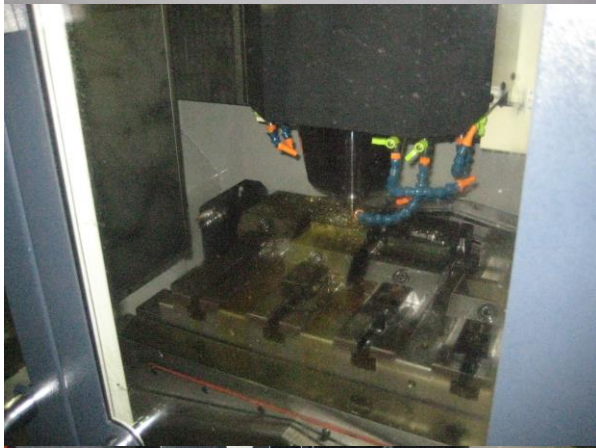


(有)谷田部精機

プラスチック製品の製造に使う金型を製造しています。顧客からプラスチック製品の形状を示す3D図面が届くと、この「逆向き」になる金型を谷田部精機で設計し製造に移ります。金型製造では多くの複雑な部品を作りそれらを組み合わせ合わせていきますが、それぞれの部品に合わせて、刃物のサイズを替えて鉄を削っていきます。まさに職人技がつまったものづくりです



<二色成形ってなに?!>

最近のプラスチック製造では、二色成形という異なるプラスチック材料を一体に成型することで、例えば埃の侵入を防ぐカバーを製造したりしています。谷田部製作所ではこの二色成形向けの金型の製造が、全体の半分以上を占めています。

材料の性質を考慮し、くっつきにくい素材同士が成形できるように金型を設計した後に、通常のコ型製造よりも複雑な工程に対応して金型を仕上げていきます。

<最先端の金型製作>

携帯電話やスマートフォンカバー、フレーム向けの金型を製造し日本メーカーに供給してきましたが、これらの主力ブランドは海外メーカーに移ってきました。そこでこれらの受注はなくなりましたが、現在は自動車部品関係を取り扱い、エンジンに使用するスタートボタン製造といった分野に取り組んでいます。1か月に2個の金型製品を生産することができ、技術に特化して製造しています。

<社員の技術力が強みの町工場>

従業員は現在6人で、そのうち1人が設計に携わる体制をとっています。一人一人が部品製造を熟知することが強みで、金型製造技術に特化して日本のものづくりを支えている町工場です。